

**製品名: DDX3 (リン酸化 Thr322) ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab04545**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率 IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:200-1:1000, ELISA 1:5000-1:20000

分子量

**抗原情報**

遺伝子名	DDX3X
別名	DDX3X; DBX; DDX3; ATP-dependent RNA helicase DDX3X; DEAD box protein 3; X-chromosomal; DEAD box, X isoform; Helicase-like protein 2; HLP2
遺伝子 ID	1654.0
SwissProt ID	O00571
免疫原	抗血清は、Thr322 のリン酸化部位周辺のヒト DDX3/DEAD-box タンパク質 3 由来の合成ペプチドに対して産生された。アミノ酸範囲: 466-515

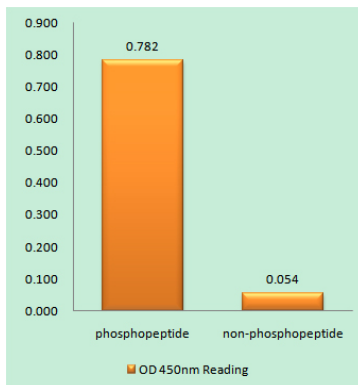
**背景**

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、保存された Asp-Glu-Ala-Asp (DEAD) モチーフの存在によって定義され、ATP 依存性 RNA ヘリカーゼ活性を持つ、大規模な DEAD ボックス タンパク質ファミリーのメンバーです。このタンパク質は、高レベルの RNA 非依存性 ATPase 活性を示すことが報告されており、ほとんどの DEAD ボックス ヘリカーゼとは異なり、ATPase 活性は RNA と DNA の両方によって刺激されると考えられています。このタンパク質は複数の保存されたドメインを持ち、核と細胞質の両方で役割を果たすと考えられています。核での役割には、転写調節、mRNP アセンブリ、pre-mRNA スプライシング、および mRNA 輸出が含まれます。細胞質では、このタンパク質は翻訳、細胞シグナル伝達、およびウイルス複製に関与していると考えられています。この遺伝子の誤調節は腫瘍形成に関係していると言われていています。この遺伝子には、Y 染色体の非組換え領域に位置するパラログがあります。類似点を共有する偽遺伝子機能: ATP 依存性 RNA ヘリカーゼ。不完全にスプライシングされた HIV-1 Rev RNA の XPO1 を介した核外輸送の補因子として機能します。また、HIV-1 の複製にも関与しています。C 型肝炎ウイルスのコアタンパク質と特異的に相互作用し、細胞内局在の変化を引き起こします。類似点: DEAD ボックスヘリカーゼファミリーに属します。類似点: DEAD ボックスヘリカーゼファミリーに属します。DDX3/DED1 サブファミリー。類似点: 1つのヘリカーゼ ATP 結合ドメインを含みます。類似点: 1つのヘリカーゼ C 末端ドメインを含みます。細胞内局在: 主に核スペckルに存在し、少量ではありますが細胞質全体に存在します。核膜孔複合体 (NPC) の外側に位置します。XPO1 依存的に核と細胞質の間を往復する。サブユニット: Rev および XPO1 と複合体を形成する。XPO1 および TDRD3 と相互作用する。HCV コアタンパク質と相互作用する。

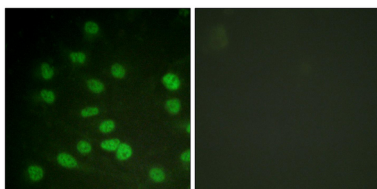
## 研究分野

RIG-I 様受容体;

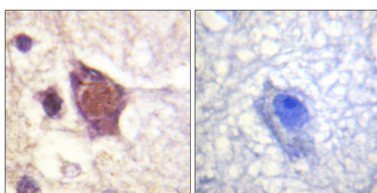
## 画像データ



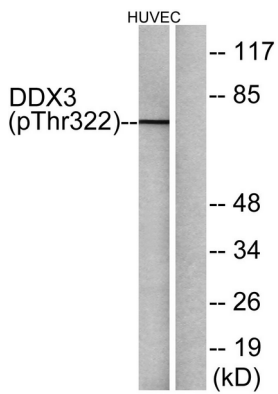
DDX3/DEAD-box Protein 3 (リン酸化 Thr322) 抗体を用いたリン酸化ペプチド (リン酸化左) および非リン酸化ペプチド (リン酸化右) 免疫原の酵素結合免疫吸着測定 (リン酸化 ELISA)



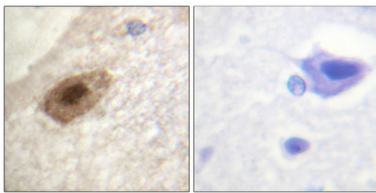
血清 20% 30%処理した HUVEC 細胞を、DDX3/DEAD-box Protein 3 (リン酸化 Thr322) 抗体を用いて免疫蛍光染色で解析した。右の写真はリン酸化ペプチドでブロッキングした。



DDX3/DEAD-box Protein 3 (リン酸化 Thr322) 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学染色。右の写真はリン酸化ペプチドでブロッキングした状態。



DDX3/DEAD-box Protein 3 (リン酸化 Thr322) 抗体のウェスタンブロット解析。右レーンは DDX3/DEAD-box Protein 3 (リン酸化 Thr322) ペプチドでブロッキングされている。



パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学染色。抗体は 1:100 (4°C、一晩) に希釈した。抗原賦活化には、高圧高温トリス EDTA (pH8.0) を使用した。抗体から得られたネガティブコントロール (右) は、免疫原ペプチドで前処理した。